日販協近畿報
https：//nippankyo-kinki.com

日販協綱領
1. 世界に誇る戸別配達制度を堅持しわが国の政治・経済・文化の発展と民主主義の擁護に貢献する
2. 新聞の持つ公器性に基づき公正な販売を期する
3. 新聞販売店共通の目的である経営の健全化を追求する

一般社団法人日本新聞販売協会近畿
大阪市北区天満4丁目14－19
天満パークビル4階
電話06(6450)5671/FAX06(6450)5672
npk-kinki2@vivid.ocn.ne.jp
発行責任者　水谷　和郎
広報委員長　岩田　達承

通常総会開催　水谷体制スタート

水谷新理事長「経営難で辞めることのない業界めざす」

一般社団法人日本新聞販売協会近畿は5月16日、大阪市北区の新阪急ホテルで第1回通常総会と臨時理事会を開き、水谷和郎副理事長（毎日・浅香駅前）を新たな理事長とする新体制を発足した。任期は2年。

就任挨拶で水谷新理事長は部数減、折込減、人手不足といった新聞販売店を取り巻く厳しい環境に触れ、「物価高の中で私たち経営者は従業員の賃金を上げる努力をしなければならないが、その原資が圧倒的に足りない。そのため人手不足は一層厳しくなり、配達業務に携わる経営者が増えている。きょう、この会場に来られなかった会員の中にも、人手の確保と資金繰りに苦しみ、疲れ果てている方がきっといると思う。私たちはその苦しみを分かち合う同志だ」と語りかけ、「日販協近畿は販売店経営に資する情報提供をはじめ、販売店が生き残るための進化の道を模索していく」と強調した。さらに水谷新理事長は「私たちの中から路頭に迷う人を出してはいけない。私たち一人ひとりが議決権を持つ仲間だ。一人ひとりが声を上げていこう。仲間の一人が欠けたら、その痛みは全体の痛みだ。高橋前理事長が言われたように私も『経営難で辞めることのない業界』をめざす。共に希望を語り合おう」と呼びかけた。

就任の挨拶を述べる水谷新理事長

水谷新理事長にバトンを渡した高橋宗浩前理事長（京都・瀬田）は日販協の活動について「私が専務理事になった10年前、自然災害時の配達について委員会で話し合った。いまは災害時に配達をストップすることができ、我々販売店にペナルティーはない。誰かが言い出して、長い年月がかかって成果が出る。これが日販協活動だ」と強調。さらに「執行部は一生懸命、前を向いて進んでいる。1年でも長く、我々の業界が存続するよう活動していこう」と会員にさらなる協力を求めた。

この日、新阪急ホテルには会員ら約100人が集まった。来賓として公益社団法人日本新聞販売協会の東靖雄会長ら執行部、発行本社販売局の幹部らが出席した。

（本総会の詳細は後日掲載）

一般社団法人日本新聞販売協会近畿役員

理事長	水谷和郎	毎日
副理事長	小西康弘	読売
同	真辺譲司	毎日
専務理事	岩田承	朝日
同	保田満範	産経
同	辻昭彦	京都
同	畑善章	神戸
同	大塚玲	日経
監事	二宮泰彦	神戸
同	高橋宗浩	京都
常任顧問	山田貞夫	産経
顧問	田中明子	税理士
事務局長	梁瀬秀則	事務局
常任理事	松島大輔	朝日
同	片川章	朝日
同	智尾裕	京都
同	松田臣	京都
同	立田純	産経
同	英樹志	産経
同	明夫	産経
同	隆	産経
理事（支部長）		
大阪市連合	中村次	読売
大阪府北部	衛野淳平	読売
大阪府中部	中宅視	毎日
大阪府南部	竹本則	読売
京都府北部	竹田雅宣	毎日
京都市	藤雅之	毎日
京都府南部	片村孝則	毎日
阪神	今越士	読売
神戸市	水太郎	読売
明石・西神戸・淡路	森本幸大	読売
兵庫県	内間良	毎日
北兵庫	王鞍篤仁	神戸
滋賀県	濱本博樹	朝日
奈良・三重	紙谷昌法	産経
和歌山	伊藤泰弘	読売
同	佐野雅一	日経
同	播田伸治	神戸
同	松田公仁	神戸
同	小谷浩一	読売
同	瀬島義郎	読売
同	吉岡大輔	読売
同	桐山政孝	毎日
同	中村龍男	毎日
同	中尾臣裕	京都
同	中田純司	京都
同	田中淳志	産経
同	立松英樹	産経
同	明智隆夫	産経
同	片川章	朝日
常任理事	松島大輔	朝日
事務局長	梁瀬秀則	事務局
顧問	田中明子	税理士
常任顧問	山田貞夫	産経
監事	高橋宗浩	京都
同	二宮泰彦	神戸
同	大塚玲	日経
同	畑善章	神戸
同	辻昭彦	京都
同	保田満範	産経
同	岩田承	朝日
専務理事	真辺譲司	毎日
副理事長	小西康弘	読売
理事長	水谷和郎	毎日